

オンライン配信「金曜星空トーク」実施報告

飯山 青海^{*1}, 西野 藍子^{*2}

概要

大阪市立科学館は令和3年8月23日(月)から令和4年2月1日(火)の期間、リニューアル工事のため長期休館となった。プラネタリウムや天体観望会などが開催できなくなる期間中、毎週金曜日の夜にオンライン配信「金曜星空トーク」と題し、その時に見頃の天体や天文現象などを紹介する30分間のライブ配信を実施した。天候が良ければ星空の映像や望遠鏡での映像も配信し、天候が悪くなれば屋内からの配信とし、また視聴者からの質問も受け付けて行った。本稿では、本配信の実施内容について報告する。

1. はじめに

令和2年2月末頃から新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、科学館は何度か臨時休館している。また令和3年には、リニューアル工事のため長期休館することもあり、プラネタリウムや天体観望会などが開催できない、もしくは万全の状態で開催できない時期が多くなった。そこで長期休館や臨時休館となっても、学芸員が天文や宇宙のことを市民の皆様にお伝えすべく、オンライン配信を行うこととした。学芸員の資質向上のため、なるべく継続的に配信を行った方が良く考え、長期休館中の毎週金曜日 19:30～20:00 の30分間、オンライン配信「金曜星空トーク」を実施した。



写真1. 「金曜星空トーク」広報用画像(第6回分)
(広報画像制作:朝田 恵美)

2. 実施内容

オンライン配信「金曜星空トーク」は全18回にわたり実施した。当日の天候が良ければ、屋上もしくは天文台にて星空の映像や望遠鏡での映像を交えながらお話し、曇天時は屋内にて学芸員がテーマに沿ってお話した。視聴者からの質問は、事前にメールをいただくか、配信中のチャットにて受け付け、回答する形とした。人員体制は、司会、解説の2名の他、機材の操作を行う技術スタッフ1名の3名での運営を標準とした。以下に各回のテーマ及び担当者を示す。

表1. オンライン配信「金曜星空トーク」一覧(1/2)

配信日	テーマ	担当
2021/09/17 (297) ^(※1)	第1回「月」	司会:西野 藍子 解説:飯山 青海 技術:西岡 里織
2021/09/24 (236)	第2回 「大阪の星空 -夏の 大三角と木星・土星」	司会:西野 藍子 解説:飯山 青海 技術:江越 航
2021/10/01 (204)	第3回 「夏の大三角と秋の 一つ星」	司会:西野 藍子 解説:飯山 青海 技術:西岡 里織
2021/10/08 (224)	第4回 「ジャコビニ流星群」	司会:西野 藍子 解説:飯山 青海
2021/10/15 (217)	第5回「後の月」	司会:西野 藍子 解説:嘉数 次人 技術:飯山 青海
2021/10/22 (267)	第6回「土星」	司会:西野 藍子 解説:飯山 青海

大阪市立科学館 学芸員

^{*1}iiyama@sci-museum.jp

^{*2}nishino@sci-museum.jp

表 1. オンライン配信「金曜星空トーク」一覧(2/2)

配信日	テーマ	担当
2021/10/29 (220)	第 7 回「秋の星座」	司会:西野 藍子 解説:飯山 青海
2021/11/05 (225)	第 8 回「天王星」	司会:西野 藍子 解説:江越 航 技術:飯山 青海
2021/11/12 (210)	第 9 回「月」	司会:西野 藍子 解説:飯山 青海
(※2)2021/11/26 (215)	第 10 回(※3) 「はくちょう座 X-1」	司会:飯山 青海 解説:江越 航 技術:西野 藍子
2021/12/03 (317)	第 11 回(※3) 「レナード彗星」	司会:西野 藍子 解説:飯山 青海
2021/12/10 (273)	第 12 回(※3) 「ふたご座流星群」	司会:西野 藍子 解説:飯山 青海
2021/12/17 (192)	第 13 回(※3) 「カノープス」	司会:西野 藍子 解説:嘉数 次人
2021/12/24 (167)	第 14 回(※3) 「年末年始の天文現象」	司会:西野 藍子 解説:飯山 青海
2022/01/07 (215)	第 15 回 「オリオン大星雲」	司会:飯山 青海 解説:西野 藍子
2022/01/14 (242)	第 16 回 「きらめく冬のダイヤモンド」	司会:飯山 青海 解説:石坂 千春 技術:江越、西岡
2022/01/21 (262)	第 17 回 「ベテルギウス」	司会:飯山 青海 解説:西野 藍子
2022/01/28 (245)	第 18 回 「星空なんでも質問大会！」	司会:西野 藍子 解説:飯山 青海

(※1)カッコ内の数字は、配信一週間後までの視聴回数

(※2)2021/11/19 は特別配信「部分月食オンライン観望会」を実施したため、「金曜星空トーク」はお休みとした。

(※3)屋上メンテナンス工事のため、屋内からの配信とした。



写真2. 「金曜星空トーク」配信の様子

3. 配信機材について

今回のオンライン配信に使用した機材一覧を以下に示す。

表 2. オンライン配信「金曜星空トーク」機材一覧

機材	用途
ATEM Mini Pro	オンライン配信映像の切り替えスイッチャー
PC(3,4 台)	・YouTube 配信を行う PC ・解説スライドを表示する PC ・天文シミュレーションソフトウェアを表示する PC など。
カメラ(2,3 台)	・解説者を撮影するカメラ ・望遠鏡の映像を撮影するカメラ など。
書画カメラ(1 台)	・書籍や資料を写すためのカメラ
モニタ(2 台)	・ATEM Mini Pro 表示用のモニタ ・実際の配信映像を確認するモニタ など。
マイク(2 台)	・解説者の音声用マイク

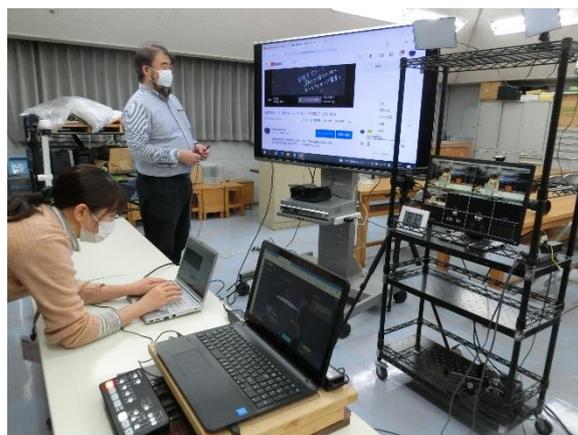


写真3. 配信機材セッティングの様子

今回のオンライン配信用の機材セッティングには、長谷川学芸員に多大な協力をいただいた。

4. おわりに

毎週金曜日 19:30～20:00 の 30 分間と決めて、オンライン配信を行ったが、リアルタイム視聴者数は平均で 30～40 名程度に留まった。長期休館中ということもあり、科学館公式ホームページや SNS 等での告知しかできなかったことも視聴者数が伸び悩んだ一因と考えている。今後オンライン配信を行う際には、もう少し事前に広く周知し、より多くの方に観覧いただけるような工夫をしたいと考えている。